CORE Metadata, citation and similar papers at core.ac.uk

英語・日本語·韓国語の he/man ことばについての一考察

厳　廷　美

1．ジェンダーと言語研究

フェミニズム思想が言語学に波及するようになるまでは，言語研究においてジェンダーと言語の関係がまともに取り上げられることはほとんどなかった。ジェンダーと言語の関係は，あまり言及されないか，取り上げられたとしてもその時代の性差別的な民俗言語学的信念[1]をそのまま表現した付随的なものであった。

言語におけるジェンダー研究が，世界的にも興隆を見るようになるのは，社会的にはウーマン・リブの意識革命運動が社会問題としてうかびあがり，学問的にはフェミニズムの視点が導入され始めた1960年代後半からのことである。

女と男の意識改革を目指すフェミニズム運動家たちは言語が社会の性差別のメカニズムを知る格好の手段であると同時に，社会の性差別を維持し正当化する上でも重要な役割を果たしていると考えるようになったのである。このような社会潮流の中，アメリカの英語における脱性差化(degendering)[2]運動は60年代以降のジェンダーと言語研究の導火線となった。この脱性差化運動の中心となった言語項目が英語における he/man ことばである。

---

1 民俗言語学とは，中世から今世紀の初めにかけての研究，つまり，言語学(linguistics)という学問が確立する以前の研究領域をさしている。民俗言語学における言語と性差研究の典型例として筆頭に挙げられるのが，オットー・イェスペルセン(Otto Jesppersen)の『Language: Its Nature, Development and Origin』の中の「The Woman」と題した章である。イェスペルセンは，女性の話し方は，「周辺的で，修飾的，個人的，具象的」で，男性の話し方は「より包括的，建設的，一般的，抽象的」であるといった具合に，何の証拠も挙げずに，ステレオタイプな性差別的な評論に終始している。

2 この脱性差化運動の中で改革の対象になった言語使用は，he/man の総称的使用や，「ミズ運動」とも言われた女に対する肩書 Miss ／ Mrs の区別，policeman, chairman など man を要素とする一連の職業名など，考えられるすべての語彙から，性差別的な表現(例えば，Henry Harris is a shrewed lawyer and his wife Ann is a striking brunette.「ヘンリー・ハリスは明敏な弁護士で，彼の妻のアンは目のさめるようなブルネットの美人だ。」のように女の姿形だけを問題にしている表現)まで様々な言語領域に適用された。

本稿では，英語における he/man ことばを振り返るとともに，日本語・韓国語における he/man ことばについて考察する。そうすることによって英・日・韓における he/man ことばの特徴を対照考察するとともに，言語研究のジェンダー運動への貢献の可能性を探る。

2．英語における he/man ことば

まず，本項では言語における性差別の論争の中心的シンボルとなった英語における he/man ことばについて概観する。

1）he/man ことばとは？

英語の学校文法によれば，代名詞はその先行詞とその数と性で一致しなければならない。男をあらわす名詞は he，女をあらわす名詞は she，性を持たない名詞は it で表される。しかし，性が不定の先行詞の場合は男性形代名詞を使うという文法規則がある。he という代名詞を人間全体の意味で使うことを「総称的使用」という。総称的使用は名詞の man にも観察される。このように「総称的使用」の見られることばを「he/man ことば」と呼ぶ。

では実際 he/man ことばが使用され得る次ぎの例を見てみよう。

(a) In a <u>student</u>'s major field,　(　　) is expected to take specialized course.
　(中村 1995:12)

(b) Each <u>speaker</u> should decide for (　　) whether to dress formally.
　(中村 1995:12)

(c) <u>Everyone</u> has a right to express (　　) opinion.

(d) A <u>Man</u> stood upright, and a new day dawned. (中村 1995:14)

伝統的な規範文法の中では，(a) he，(b) himself，(c) his が使用され，(d) の man は woman の意味をも含む語であると考えられている。

2）he/man の総称的使用における意味のあいまいさ

he/man の総称的使用には「意味のあいまいさ」という問題があり，英語という言語の意味を不確定にしていると指摘されてきている。次ぎの例をみてみよう。

(a) Bruce and Jane divorced because each wanted to focus on his own life.
（前田 2003:21）

(b) Man's vital needs include food and water.（中村 1995:17）

(c) Man's vital needs include food, water and access to females.（中村 1995:17）

(a)では Bruce and Jane を指す代名詞として his が使われ，文法的には正しいとされても，意味的には本来男性単数名詞を指す his が女性の Jane をも指すという矛盾を孕んでいる。(b) の man は男性･女性両方の人間を指しているが，(c) の文では明らかに男性だけを意味する語として使われている。つまり，man の意味が＜人間＞から＜男＞へと変わっているのである。

3）he/man ことばの実際の意味の解釈

he/man は男と女両方を含む意味として使うという学校文法の規範があるにしても，実際使われる際には男の意味として解釈される。

(a) All men are mortal.

(b) Socrates is a man.

(c) Therefore, Socrates is mortal.

この文の中の man がもし女も含む人間の意味として解釈されるとするならば，次ぎのような女性の名前を先行名詞にした文に切り替えても何の疑問もないはずである。

(a1) All men are mortal.

(b1) Jane is a man. (?)

(c1) Therefore, Jane is mortal.

しかし，実際はどうだろうか。(b1)のような文を読んだ人は何か不自然さを感じるのではないだろうか。それは，あまりにもこの文が哲学的論法の例としてわれわれの脳裏に定着している表現であるからであるという異論もあり得るだろうが，それより Jane is a man で明らかに女性の名前としか認識しない名詞を man という男を指すと認識されている語で受けているからではないだろうか。

このようなことは，次ぎの文のように，女性固有の領域とされてきた文脈において he/man が使用されると意味の通じない文になる場合もある。

(d) Man lives an isolated life when engaged in child- rearing in our society. (?) (Spender 1980:156)

(e) The individual's freedom to bear children should not be defined by his education, income, or race. (?) (中村 1995:20)

また，英語使用者にとっても文法という正しいとされるルールを意識しなければ，he/man は男を意味する語としてしか認識されない。マティーナ(Martyna1978)は男に関係する名詞(例えば，judge)，性を指定しない名詞(person)，女性に関係する名詞(nurse)を含むそれぞれの文を，被験者に途中まで見せ，その後の文をつづけて完成させてもらい，それぞれの異なる先行名詞に対して，どのような代名詞を選ぶのかを観察している。その結果，男に関係した名詞と性を指定しない名詞に he を使い，女に関係した名詞に she を使うという傾向が明らかになった。

3．he/man ことばの改革運動

英語における he/man ことばはフェミニスト言語学者にもっとも最初に攻撃される言語項目である。フェミニスト言語学者は he/man ことばの総称的使用は男を人間の代表とし，女はその亜種に過ぎないという性差別的な考えを植え付け，女の存在を不可視化していると主張し，その改革運動を展開するようになる。しかし，改革運動の中には何をどのように改善すべきかについて一致した見解や方法論が出されたわけではない。つまり，言語における男女平等を実現するための実際の具体的方法はいくつかに別れているのが現状である。

1）中性化

まず，性をはっきり表現しない中性化の方法がある。

a）he を they に換える

No one would do that if <u>he</u> could help.

→ No one would do that if <u>they</u> could help.

b）総称的代名詞文を作りなおす

Pick up baby the when he cries.

→ Always pick up a crying baby.

c）man を含む語は man を使用しない中立的表現に換える

chairman → chairperson, chair

mankind → humankind, human beings, people

しかし，中性化の改善法は a)の方法は，数の一致に違反するため抵抗感を感じる人が多い，b)は現実的に難しいだけではなく，文を作る度に人称代名詞を使わない文を作り出すという煩雑さがある，c)は「中性化」は，性を表示する必要のない場合は表示しないという考え方に基づいているが，どうしても性を表示する必要がある場合，女性の場合は female mail carrier，female police office のように，性別を示す方法は残っており，その人物の行為は「女である」という

事実に基づいて否定的に評価されるという欠点はそのまま存続する，などと矛盾が批判される。

2）女性化

すべての不定または総称的支持物を女性形で表す。

a）No one would do that if <u>he</u> could help.

→ No one would do that if <u>she</u> could help.

b）Pick up baby the when <u>he</u> cries.

→ Pick up baby the when <u>she</u> cries.

これはsheを使うことによって，女も含む意味としてheを使うことの矛盾や偏見に直面することで人々の意識を高めようとする戦略であるが，この方法に関しては男中心主義の考えを女中心主義に変えるだけで間の意味でのフェミニズム改革ではないとフェミニストの中から反発が出るようになる。

3）可視化

女を明確に表現する。

he → he or she

chairman → chairwoman

spaceman → spacewoman

これは言及される対象が女の場合にはその性を明確にすることで女性を可視化する方法であるが，この方法も常に人物の性を表示することに伴う煩雑さという現実的問題が残る。

これらの改善方法は，それぞれ問題点があり，完全に言語使用における性差別をなくすことはできなかった。しかし，フェミニストの指摘や運動によって，英語という言語の中に性差別が存在することが広く認識されるようになったことと，性に関する言語使用の選択の幅が広がったという点においては，大きな意義を持っている。

4．日本語と韓国語における he/man ことば

本項では日本語と韓国語における英語の he/man のようなことばについて比較の視点で考察する。日本語については中村(1995)の研究[3]からその例を示す。日本語における he/man 現象に基づいて，韓国語においても同じような言語現象があらわれるのかを調べることによって，日本語と韓国語の he/man ことばの特徴を比較分析する。

1）日本語だけにあらわれる現象

①「僕」，「僕ら」，「僕たち」

＜歌＞

僕らはみんな生きている生きているから歌うんだ
僕らはみんな生きている生きているから悲しんだ
手のひらを太陽にすかしてみれば，真っ赤に流れる僕の血潮

線路は続くよどこまでも
野を越え山越え谷越えて
はるかな町まで僕たちの
楽しいたびの夢つないでく(中村 1995：26 － 27)

＜新聞の見出しや標語＞

12 万人初夏を歩く
第１０回ウォークラリー
「こんなところにもあった！僕らの遊び場発見」第十回全国一斉ウォークラリー大会……が十六日，全国１７都道府県の二百十五会場で行なわれた。はじめて全会場が好天に恵まれ，お年寄りから赤ちゃんまで，史上最多の十二万千九百二十一人がさわやかな初夏の一日を思い思いに楽しんだ。(『朝日新聞』1993 5/17)(中村 1995:28)

3 中村（1995）の研究は，日本語の中で英語の he/man ことばを考察したものであり，本研究をするにあたって少なからずの示唆を受けた。

「日本語では「僕」は男が自分を指す時に使う言葉であるが，……その複数形である「僕ら」「僕たち」とともに，女も含む意味に使われている。」(中村 1995:26)

②「ぼうや」，「ぼっちゃん」

＜歌＞

ねんねんころりよおころりよ

ぼうやはよい子だねんねしな(中村 1995:29)

「日本語には「ぼうや」に匹敵する女の赤ちゃんを指す特別なことば自体存在しない。「赤ちゃんの代表は男のこ」という考え方，歌に限らず育児書の記述や写真にも反映している。」(中村 1995:29)

2）日本語・韓国語に共通にあらわれる現象

①「少年」

＜日本語＞

就職難の女子学生

7月から相談窓口

労働省は24日，都内で開かれた大企業三百十七社の就職協定順守懇談会(代表・長野健日経連会長)の席で，女子学生の就職問題に関する相談窓口を全国七都道府県の婦人少年室に設けることを明らかにした。これは，不況のあおりで，来春卒業予定の女子学生が男女雇用機会均等法の趣旨に反する差別的な扱いなど受ける恐れがあるための処置である。(『朝日新聞 1993 5/25』)(中村 1995:30)

少年法，少年院，少年鑑別所，少年団，青少年

下線の「少年」は女も含めた若い人全体の意味で使われていると考えられる。そこで，日本の国語辞典で「少年」と「少女」の意味を調べた。辞書においても少年は少女の意味を含むと明示されている。つまり，「少年」の総称的使用を規範化していると言えよう。

・ 少年：人を年齢によって分けた区分の一つ。小学生から中学・高校生くらいまで(の人)。[広義では少女を含む。少年法では二十歳未満のものを指す。]
(『新明解国語辞典』 三省堂)

・ 少女:若い女の子。[普通,十歳前後から十六,七歳ぐらいまでを言う]おとめ。
(『新明解国語辞典』 三省堂)

＜韓国語＞

소년동아일보(少年東亜日報)

소년 고생은 사서 하랬다．(少年時代の苦労は買ってでもやるべきだ)

소년법(少年法)，소년원(少年院)，소년비행(少年非行)，
소년범죄(少年犯罪)，소년 감별소(少年鑑別所)

②「兄弟」

＜日本語＞

ご兄弟は何人ですか？（姉妹の意味も含まれる）

ご姉妹は何人ですか？（姉妹だけの意味)(中村 1995:31)

＜韓国語＞

형제가 몇입니까？（ご兄弟は何人ですか）

자매가 몇입니까？（ご姉妹は何人ですか。）－「姉妹」だけの意味

③「彼ら」

＜日本語＞

日本語の3人称代名詞の「彼ら」も総称的に使われることがある。辞書で「彼」の意味を調べると次ぎのように説明されている。

「彼」：反意語→彼女，話し手・聞き手以外の存在を指す言葉。[現在は，主として男性を指す]（『新明解国語辞典』）

「彼」は男を指す語であるが，それが複数形の「彼ら」の場合には単数形の時の性の区分が崩れてくる。「彼女ら」，「彼女たち」が複数の女性しか指すことができないのに対して，「彼ら」は複数の男性を指すだけではなく，男性と女性が混ざっている場合でも用いることができるのである。これは3人称男性代名詞が女性を含めてさすことができるという総称的使用として考えられる。

イラクにイラク人の政府をつくり，彼らに国づくりをゆだねることでは，米国も国連も同じ立場だ。米国を中心とする有志連合がいつまでも占領を続けていくわけにはいかない。（朝日新聞 2003 10/16）

＜韓国語＞

韓国語の3人称代名詞には単数形の「彼」の意の「ユ」，「彼女」の意の「ユ녀」と複数形の「彼ら」の意の「ユ들」と「彼女ら」の意の「ユ녀들」がある。

韓国語においても日本語と同じように，男女が混ざっている場合には「彼ら」

の意の「그들」が総称的な意味として用いられる。

8.15 때 남북 이산가족 상봉단으로 서울과 평양을 동시에 방문할 이산가족들은 각자 방문지를 벗어날 수 없기 때문에 고향 방문이 사실상 어려울 것으로 左인다. 과연 그들은 언제쯤 고향을 방문할 수 있을까? (ハンキョレ新聞 2000/7/1)

(来る 8.15 の日に南北離散家族相逢団としてソウルとピョンヤンを同時に訪問する離散家族らは各自訪問地を離れることができないため，事実上，故郷訪問が難しくなりそうである。果たして，彼らはいつになったら故郷を訪問できるだろうか。)

3）韓国語だけにあらわれる he/man ことば

本項では韓国語だけにあらわれる he/man ことばを考察する。

①「자식」(子息，子供)

「자식」は本来，娘を意味する「여식」(女息，女子供)と対の意味がある。しかし，「자식」は「여식」を含む総称的な語として使われる。

자식이 여덟이다. (子供が 8 人いる)

여식이 여덟이다. (娘が 8 人いる)

② 「아들」(息子)

本来息子の意味をもっている「아들」(息子)も女の子も含む「아이」(子供)の意味として使われる場合がある。

똑똑한 아들에게 --- 캡셀라 과학

캡셀라 과학은 아이들 스스로 만들어 보면서 .....

(賢い息子に－キャプセラ科学

キャプセラ科学は子供たち自ら作ってみながら……)

③「ユ」(彼)

すでにみてみたように,「ユ」は「彼」の意の3人称代名詞である。しかし「ユ」が「彼女」の意味の「ユ녀」を含み,総称的に使われる。次ぎの例でみるように,男を指す時も女を指す時も「ユ」が用いられていることが分かる。

まず,「ユ」が男性を指す代名詞として用いられる例を見てみる。次に「ユ」が女性を指す代名詞として総称的に使用される例を見てみる。

次の例は男性ピアニストへのインタービュ記事である。

93년 봄부터 지금까지 이 프로의 진행자로, 동덕여대 실용음악과 학과장으로, 그보다는 국내 최고 수준의 재즈 피아스트로 바쁘게 살아가고 있는 김광민 (39) 씨, 뜨거운 땡볕이 내리쬐는 5일 오후에 만난 그는 몹시 분주해 보였다.

(93年春から今までこのプログラムの進行者で,東徳女子大実用音楽課学課長として,それよりは国内最高水準のジャズピアニストとして忙しい毎日を送っている。暑い日差しの降り注ぐ5日午後に会った彼はとても忙しく見えた。)(ハンキョレ新聞 2000/6/7)

次の新聞記事は韓国の女性ゴルファーに関する記事である。

그에게 어둠을 찾아보긴 어렵다. ……그는 7일 (한국시각) 끝난 99유에스 오픈 여자 골프대회에서 아마추어로서 다른 선수들 보다 뛰어난 기량을 과시했다. 어려서 리틀 미스코리아에 꼽힐만큼 빼어난 외모를 자랑하는 그가 주목을 받는 이유는 프로 세계에서도 알아주는 장타이기 때문이다.

([パクジウン]パクジウンゴルプ人生)

(彼に暗さを探すのは難しい……彼は7日(韓国時間)終了した99 U S オプン女子ゴルフ大会でアマチュアーとして，ほかのプロ選手より優れた器量を誇示した。幼い時にリトルミスコリアに選ばれるほどずば抜けた美模を自慢する彼が注目を受けた理由はプロ世界でも認めてくれる長打を打ったからである。)(ハンキョレ新聞 2000/6/7)

아웅산 수치，그가 단지 아웅산 장군의 딸이라는 이유만으로 대중적인 지지를 얻었다고 생각하는 사람은 별로 없다．(『우리가 몰랐던 아시아』2004，한겨레 신문사：197)

(アウンサン・スーチ，彼がただアウンサン将軍の娘であるという理由だけで大衆的な支持を得たと考える人はあまりいない)(『われわれが知らなかったアジア』ハンキョレ新聞社 2004:197)

5．まとめ

本稿では英語・日本語・韓国語における he/man ことばについて比較考察した。その結果，英語の場合は，they は he と she の両方の複数形として使われるが，he は単数形の先行詞の性別が特定できない場合総称的に使われる。

日本語の場合，単数形の「彼」と「彼女」は男と女だけを指すのに使われるが，複数形の「彼ら」は男だけではなく，女も指す総称形として使われる。一方，韓国語においては，英語・日本語とは異なる現象が見られる。「彼ら」の意の「그들」が総称的に使われるという点は，日本語と共通している。しかし，単数形先行詞の性別が明確に女の場合でも，「彼」の意の「그」が用いられるのである。

このように，フェミニズムの視点に立って英・日・韓における he/man ことばを調べてみると，その個別的な傾向は異なるものの，それぞれの言語の中に he/man ことばが存在していることが明らかになり，異なる言語現象を同じ性差別イデオロギーで説明することが可能になる。

英語の he/man ことばが言語における性差別の象徴として批判され，改革さ

れてくる中で，言語だけではなく，その言語社会や言語使用者の意識など，さまざまなレベルにおける性差別イデオロギーを明らかにし，改善してきたように，日本語・韓国語においての he/man ことばも，日本と韓国社会における性差別イデオロギーを明らかにする一つのきっかけになると考える。

＜参考文献＞

・中村桃子(1995)『ことばとフェミニズム』勁草書房

・김선희(1991)「여성어에 관한 고찰」『목원대학 논문집』제 19 집

・Cameron, Deborah（1985）*Feminism & Linguistic Theory*, London: Macmillan.
（D・カメロン(中村桃子訳）1990『フェミニズムと言語理論』 勁草書房）

・Lakoff, Robin（1975）*Language and Women's place*. Harper & Row.

・Miller, Casey and Kate Swift（1976, 1991）*Words and Women*: New Language in New Times（updated）. Harper Collins.

・Miller, Casey and Kate Swift（1988）*The Handbook of Nonsexist Writing*: Second Edition. Harper Perennial.

・Spender, Dale（1980）*Man made language*. Routledge & kegan Paul.
（D・スペンダー（れいのるず＝秋葉かつえ訳）1990『ことばは男が支配する言語と性差』勁草書房）

※本論文は，平成14年度松山大学特別研究助成による研究成果である。